

団体名	学校法人札幌大学						
事業名	2023年度留学生交流会「もちつき大会」						
実施期間	令和5年12月2日（土）						
場所	札幌大学 大学会館（リンデンホールWEST 1階食堂）						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	23	5	0	27	7	0	62名

<実施内容>

令和5年12月2日(土)、札幌大学大学会館を会場に『2023年度留学生交流会「もちつき大会」』を開催しました。この催しは、札幌大学に在籍する外国人留学生が、日本の伝統文化である「もちつき」と「正月遊び」を体験しながら地域の方々と触れ合い、交流することを目的に開催しているもので、毎年好評の企画です。

当日は、本学学生28人をはじめ、近隣の西岡・福住地区町内会や札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワークの皆さん、本学教職員など、計62人が参加しました。

会は、町内会の皆さんによる熟練した実演が初めにあり、留学生が順番に、アドバイスを受けながら餅つきを体験しました。留学生の中には、想像以上に重たい杵に驚いたり、力加減の難しさに翻弄されながら臼を叩いてしまうなどの悪戦苦闘する姿もあり、みんなの笑いとお支えの声に包まれていました。

正月遊びのコーナーでは、もちつきの合間でカルタや福笑い、けん玉やコマ回し、折り紙などを楽しみ盛り上がりました。

今年度は、コロナ禍以前に行っていた、参加者全員がつきたての餅を食する歓談の時間も再開されました。丸めた餅を調理し、雑煮やお汁粉、大福餅やきな粉餅等を食べながら、地域の方々や異国から来ている留学生と歓談し、楽しいひとときを過ごしました。また、類似した食文化を自国にもつ留学生の中には、その違いを話題に楽しむ様子もあり、日本文化の体験と地域交流が、留学生にとって有意義な時間の記憶として残るものとなりました。

<記録写真>



地域住民と餅をつく留学生



地域住民と餅を丸める留学生



正月遊びを楽しむ留学生

<参加者からのコメント>

地域住民（日本）/Local Residents (Japan)

普段関わったことのない留学生との交流が楽しかった。留学生が「初めての体験だったけれど楽しかった」と話してくれたのが印象に残っている。大学・学生と地域住民の交流は、地域にとっても町づくりの協力に繋がる良い事業だと思う。

匿名（中国）/Anonymous (China)

日本の餅つきを体験することができて、大変ありがたいイベントでした。おかげで米からの作り方を知ることができた。地域の人と交流ができて本当に楽しかった。もっと日本の伝統文化に関するイベントに参加したい。

英語名称（英語版作成用）

団体名	Sapporo University
事業名	2023 Sapporo University International Exchange Event "Mochitsuki Festival"